

## 言葉の力

松江市立湖東中学校 3年 岸本亜佑美

私たちはネットを気軽に使うようになりました。私も毎日のように使っている一人です。メッセージアプリを使って友達と会話したり、興味のある動画を見たり、とても楽しいツールです。動画にコメントをして自分の感想や意見を相手に伝えることもできます。しかし感想や意見の全てが良いものや相手を褒めるものになっていくとは限りません。先日私が動画をみていると、友人が「アンチコメントが多くなり、動画を投稿したくない。」と書き込んでいました。

私は、「大丈夫だよ。」「ゆっくりでいいよ。」というコメントがたくさん書かれていると信じていました。でも私の予想は覆されてしまいました。友達のコメントを見るととても厳しい言葉がたくさん書かれていました。

「動画をアップしている以上、アンチコメントを書かれるのは当たり前。」「アンチコメントで病むくらいなら投稿しなければいい。」などいくつも書かれていました。匿名だからとは言え、面と向かって言わなかったとしても、心に突き刺さる言葉は絶対にコメントでできないはずです。

私が今までに見てきたコメントは、ほとんどのコメントに誹謗中傷する内容がふれていました。誹謗中傷は絶対にあってはならない行為であるのにも関わらず、当たり前のこととして書き込むのは滅茶苦茶に思えます。悪いのは誹謗中傷する心や行為です。でも友人が投稿すること自体が悪いという風になっています。

もう一つ驚いたことがあります。それは誹謗中傷したコメントに乗っかり、誰か知らない他の人も次々と同様にアンチコメントを誇張して書き込んでいく実態を知ったことです。事実とは違うことを、面白おかしくするために、どんどん大げさにアンチコメントを作り話にしていくことを知ったことです。友達も、顔も名前も知らない人から誹謗中傷されたのです。私は心が苦しくなり、悲しくなり涙が出てきました。

私が更にショックを受けたできごとがありました。ニュースで見たのですが、誹謗中傷が原因で、芸能人の方がそれを理由に自死されたことです。他にも、学校や仕事に行けなくなり、病気になられたりして悩みに悩んで、自らの命を絶ってしまわれた方もいました。誰もが誰もメンタルが強い訳ではないのです。むしろ傷ついでしまう人の方が多いと思います。

自分の今のイライラや感情をぶつける目的で匿名でどうせわからないだろうと、いつか勢いで、誰かの投稿に誹謗中傷の内容で憂さ晴らしするのは許されないと

思います。いくらストレスがあってもイライラしていたとしても、純粋に投稿している内容に対してけなしたり、悪口を書き込んでスッキリするというのは許されません。多数の人がヘイトスピーチをエスカレートさせて「いじめ」を助長させることは、書かれた人は、その時から毎日暗く、憂鬱な時が流れ、一人ぼっちで悩むしかない、日常もストップして、人生まで破壊されてしまいかねなくなるのです。

私は、新聞で中高生の自死者の数を知りました。この中でネットによるヘイトスピーチや、仲間外しが多くの原因であることを知りました。

ネットに動画や意見をアップすること自体も十分にその危険性を知りながら利用することもとても大切なことと思います。

私自身が加害者になってしまうことがあるかもしれません。だから投稿するなら優しい言葉、褒める言葉を書くように心がけなければなりません。そうしないと自分自身が発した言葉で、人の心や人生までも影響を与えてしまいかねないことを学習したからです。

そして私自身が投稿した意見や動画に対してヘイトスピーチを書かれたら、私だったらショックだし、まして身の回りの人が書き込んでいたとしたら、きっと立ち直れないと思います。

私はまだ、ヘイトスピーチの被害にあったことはありません。でも私も投稿して動画や意見に対して、ヘイトスピーチがアップされたら、たとえ一回だったとしても、心が折れてしまうと思います。ずっとずっとヘイトスピーチの言葉が頭から離れず、一生忘れることのない出来事になると思います。

メンタルを鍛えるという問題ではないと思います。人として私は、自分のサイトからヘイトスピーチの卑劣さや、恐ろしさを訴えて生きていきたいと考えています。ストレス解消のはけ口にネット投稿するような社会がなくなることを私は切望しています。